

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 学校施設費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

高度情報化時代に、子どもに情報機器を適正かつ効率的に使用できるメディアテラシーや情報モラルなどを身につけさせる。学習に有効な情報機器の選定導入を進める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,033,500
	決算	
	事業費 (A)	1,030,000
	人件費 (B)	3,500
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数 (人)	人	3.6	目標	-
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校情報技術環境整備事業		○		1,033,500	1,030,000	0.5				
計					1,033,500	1,030,000	0.5	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校情報技術環境整備事業

◇事業目的・事業対象

教育委員会と市立小中学校を結んだ浜松市教育ネットワークを利用し、学校管理運営システムの運用による事務の効率化を図り、ネットワーク環境を維持するために、浜松市教育ネットワークセンター及び通信回線の保守・管理を行う。また小中学校の教育情報機器等の整備を行う。

◇事業の概要

- ・学校管理運営システムの運用
学校管理運営システム(文書管理、支出管理、備品管理)を活用し、事務処理の効率化を図るとともに、利用時の運用支援を行う。
- ・浜松市教育ネットワークの維持管理、運用
浜松市教育ネットワークセンターのネットワーク機器保守やインターネット回線の監視を行い、教育委員会と小中学校のインターネット環境を常に正常な状態に保つ。
- ・図書管理システム、教育情報機器等の更新
新規導入から6～7年経過する図書管理システムやパソコン等情報機器を更新する。
- ・ICT環境整備
学習に有効な情報機器の選定導入を進める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H14	—	一般会計	自治事務(その他)		—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,030,000
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	1,030,000
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		3,500
人工	正規	0.5
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
教育用コンピュータ1台あたりの児童生徒数(人)		8.6			3.6

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 小学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

市立小学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の実備に努める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	523,479
	決算	
	事業費 (A)	517,879
	人件費 (B)	5,600
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)	%	90	目標	90
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教育振興事業				523,479	517,879	0.8				
計					523,479	517,879	0.8	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教育振興事業

◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立小学校(100校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の実を因るため、教育に適した図書も購入していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	517,879
	決算	
	国・県支出	2,850
	市債	
	その他	
	一般財源	515,029
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		5,600
人工	正規	0.8
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
整備基準に基づく機器導入と、学校が必要とする物品の購入(年間達成率)		90			90

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 中学校管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

市立中学校において、より効率的な学習・授業を行うための教育環境整備や、学級増に伴う教師用教科書・指導書等の購入を行う。また学校図書の実態調査に努める。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	156,726
	決算	
	事業費 (A)	151,826
	人件費 (B)	4,900
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
整備基準に基づく機器導入と学校で必要とする物品の購入(年間達成率)	%	90	目標	90
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	教育振興事業				156,726	151,826	0.7				
計					156,726	151,826	0.7	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 教育振興事業

◇事業目的・事業対象

より効果的な学習、授業を行うため、市立中学校(49校)の教育環境の整備や学級数の増加に伴う教材、教科書指導書等を購入する。

◇事業の概要

学校の教育環境の整備や学習効果を高めるため、学校の要求に即した備品等の購入を行う。特に理科・数学の教育に関しては、国庫補助を受け、重点的な購入を行っている。他に教科書の採択替えや学級数の増加に則して教科書・指導書、教材等を購入し、学校図書の実を図るため、教育に適した図書も購入していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S22	-	一般会計	自治事務(その他)		-	

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	151,826
	決算	
	国・県支出	1,600
	市債	
	その他	
	一般財源	150,226
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		4,900
人工	正規	0.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
整備基準に基づく機器導入と、学校が必要とする物品の購入(年間達成率)		90			90

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 小学校教職員管理費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

小学校教諭の英語指導力の向上

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	7,980
	決算	
	事業費 (A)	7,280
	人件費 (B)	700
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
小学校教諭の海外派遣総数(人)	人	176	目標	32
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	小学校教諭英語指導力向上事業	○	○		7,980	7,280	0.1				
計					7,980	7,280	0.1	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 小学校教諭英語指導力向上事業

◇事業目的・事業対象

英語留学を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、小学校教諭の英語授業指導力の向上を図る。

◇事業の概要

【重点戦略項目 No.35】

・小学校教諭16人を約4週間、英語留学のため派遣する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H26	-	一般会計	自治事務(その他)		○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	7,280
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	7,280
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標


主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
小学校教諭の海外派遣総数(人)	35	32		80	176

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 小学校教諭英語指導力向上事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
35	海外派遣16人	海外派遣16人	海外派遣16人	海外派遣16人



政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 教育指導費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

- 英語指導力の向上と授業の充実を図る。
- 理数教育の充実を図る。
- 道徳教育の充実を図る。

◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	259,130
	決算	
	事業費 (A)	245,830
	人件費 (B)	13,300
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
児童生徒1人あたりのALTの活用時間(時間)	時間	中35時間 小35時間	目標	中学校31時間、小学校12時間
			実績	
理科支援員の活用率(%)	%	100	目標	100
			実績	
はままつマナーの活用率(%)	%	100	目標	100
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	はままつ人づくり教育推進事業		○		19,559	18,159	0.2				
2	生きた英語力育成事業	○	○		145,157	140,957	0.6				
3	理科・ものづくり教育支援事業 (負担金)				5,200	4,500	0.1				
4	理科支援員配置事業		○		36,611	35,211	0.2				
5	音楽等発表会開催事業				14,642	12,542	0.3				
6	部活動等推進事業				35,812	33,712	0.3				
7	三遠南信交流推進事業				2,149	749	0.2				
計					259,130	245,830	1.9	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) はままつ人づくり教育推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 小中学校が、「心の耕し」をキーワードに小学校・中学校の連軸性を踏まえて教育活動を進めるとともに、家庭・地域にも働きかけ、「心の耕し」が広がることを通して、浜松の子どもに豊かな心を育む。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

- ・はままつ人づくり教育推進協議会の開催 年3回開催予定
- ・「はままつマナー」等の印刷
- ・市立全中学校区はままつ人づくり教育推進協議会にはままつ人づくり教育推進事業を委託し、1/2成人式や立志式、地域合同コンサート等を開催する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H22		一般会計	自治事務(その他)		-	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	18,159
	決算	
	国・県支出	3,668
	市債	
	その他	
	一般財源	14,491
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
冊子「はままつマナー」の活用率(%)		100			100
「二分の一人成人式」「立志式」の実施率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 生きた英語力育成事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 英語の授業を通して、児童生徒の言語や外国の文化に対する理解を深める。英語によるコミュニケーション能力の育成を図るため、小学生・中学生・高校生を対象に、外国語指導助手(ALT)を活用した授業を実施する。
 【事業対象】 市内小中学校、高等学校

◇事業の概要

【重点戦略項目No.35】
 ・外国人指導助手(ALT)、国際交流員(CIR)を配置するとともに、ALTによる英語授業を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S62		一般会計	自治事務(その他)	語学指導等を行う外国青年招致事業実施要綱	○	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	140,957
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	2,284
	一般財源	138,673
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	4,200
人工	正規	0.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
児童1人あたりのALT活用時間数(時間)		12			35
生徒1人あたりのALT活用時間数(時間)		31			35
英語指導力向上研修を受講した教員が在籍する学校の割合(%)	35	25		100	100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

補助シート (事業名) 生きた英語力育成事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
35	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。	国が求める英語教育の改善・充実方策を正しく理解し、浜松市の英語教育を推進するため、教育センターと連携して英語指導力の向上を図る。 (受講者 100人)

事業シート (事業名) 理科・ものづくり教育支援事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科・ものづくりの学習の場や体験活動を実施する地域支援ネットワーク「浜松RAIN房」の活動を支援する。
 【事業対象】 市内小中学校及び関係市民団体

◇事業の概要

・浜松市及び浜松商工会議所、静岡大学が連携し、地域ネットワーク「浜松RAIN房」を支援していく。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H23		一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	4,500
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	4,500
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
理科・ものづくりプログラムの小中学校への提供回数(回)		50			50
小中学校の教員を対象とした理科・ものづくり研修の回数(回)		10			10

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 理科支援員配置事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 理科支援員を浜松市立小学校に配置・活用することにより、理科の授業における観察・実験活動の充実を図る。
 【事業対象】 市内小学校

◇事業の概要

・理科支援員の全校配置及び理科支援員コーディネーターの派遣を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H19		一般会計	自治事務(その他)		—	○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	35,211
	決算	
	国・県支出	10,311
	市債	
	その他	
	一般財源	24,900
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
理科支援員の活用率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 音楽等発表会開催事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 子どもたちが文化芸術に親しみ、体験する機会を積極的に設け、文化を身近に感じる環境づくりに努める。
 【事業対象】 市内小中学校及びその保護者

◇事業の概要

- 平成27年度から平成29年度の3年間で市内中学校を一巡するように、音響設備がよい施設での音楽発表会を開催する。
- 小中学校の学年団や音楽部の発表や鑑賞を行う研究発表会を開催する。
- 児童生徒が製作した図画工作や美術作品等を広く市民に紹介するとともに、造形教育の啓発や振興のために市展の開催や優秀作品の表彰を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H12		一般会計	自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	12,542
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	12,542
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
音楽発表会の実施率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 部活動等推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 部活動を中心とした文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会・全国大会等へ出場する児童・生徒を対象に激励金を交付するとともに、各種文化・スポーツ大会の効果的な運営を支援する。
 【事業対象】 市内小中学校

◇事業の概要

【文化・スポーツ活動奨励事業】
 児童生徒の文化・スポーツ活動を奨励するため、東海大会以上に出場する児童生徒に激励金を交付するとともに、顕著な成績を収めた児童生徒に表彰状を授与する。
 【文化・スポーツ大会等支援事業(交付金)】
 小中学校の文化・スポーツ団体が実施する各種大会等の開催を支援する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S33		一般会計	自治事務(その他)	市スポーツ大会・音楽コンクール等出場激励金交付	-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	33,712
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	33,712
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
小・中体連及び小・中文連の対象事業参加率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 三遠南信交流推進事業

◇事業目的・事業対象

【事業目的】 三遠南信地域の飯田市、豊橋市、浜松市の中学生の交流や飯田市及び豊橋市の教員の受入交流によって、視野や見識を広める。
 【事業対象】 市内中学校

◇事業の概要

飯田市・豊橋市・浜松市の中学生及び教員の交流等を実施する。
 ・3市の中学生代表が、夏休みに1泊2日で豊橋市を訪問する。
 (3市が交代で開催し、27年度は豊橋市が開催市)
 ・飯田市及び豊橋市の教員を受け入れ、研修を通じて交流を深める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H5			自治事務(その他)		-	-

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	749
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	749
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
市内中学校の交流参加率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 小学校保健給食費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	894,860
	決算	
	事業費 (A)	780,072
	人件費 (B)	15,400
	報酬 (C)	99,388

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
健康診断受診率	%	100	目標	100
			実績	
給食満足度率(自校方式、小学校)	%	95	目標	93
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	児童健康診断事業				136,839	34,651	0.4	0.0	0.0	0.0	99,388
2	小学校給食事業		○		758,021	745,421	1.2	0.0	0.0	1.5	0
計					894,860	780,072	1.6	0.0	0.0	1.5	99,388

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 児童健康診断事業

◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、小学校児童に対し健康診断を行い、児童の健康の保持増進を図る。

◇事業の概要

○法令に基づき、下記3項目を実施する。

- ・尿検査(全学年)
- ・寄生虫卵検査(1～3学年)
- ・心臓疾患検査(1年生・4年生)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法		

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	34,651
	決算	0
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	34,651
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		99,388
人件費 (千円)		2,800
人工	正規	0.4
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
健康診断受診率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 小学校給食事業

◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、児童の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して、正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

○学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく食品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫等)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の清掃など、給食場の良好な環境を維持する。
○行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
○地産地消の推進に向け、小学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。また、浜松市産の茶葉を使用した紙パック茶を2回提供し、地場産物への関心を高める。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法		○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	745,421
	決算	0
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	745,421
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		12,600
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	1.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
給食満足度率(自校方式、小学校) (%)		93			95

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 小学校給食事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充、小中学校自校方式の統合など、学校給食調理業務民間委託による事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 5003
 取組事項名 学校給食調理業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
学校給食調理業務民間委託数 (調理場)	計画値	1	0	2	2	5(累計)
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		累積	22,957	22,957	47,261	118,913
						212,088

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 中学校保健給食費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康教育の推進や、食に関する指導の充実を図り、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。また、安全・安心でおいしい給食を提供する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	395,484
	決算	
	事業費 (A)	330,873
	人件費 (B)	15,400
	報酬 (C)	49,211

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
健康診断受診率	%	100	目標	100
			実績	
給食満足度率(自校方式、中学校)	%	88	目標	85
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	生徒健康診断事業				70,435	18,424	0.4	0.0	0.0	0.0	49,211
2	中学校給食事業		○		325,049	312,449	1.2	0.0	0.0	1.5	0
計					395,484	330,873	1.6	0.0	0.0	1.5	49,211

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 生徒健康診断事業

◇事業目的・事業対象

学校保健安全法に基づき、中学生徒に対し健康診断を行い、生徒の健康の保持増進を図る。

◇事業の概要

- 法令に基づき、下記2項目を実施する。
 - ・尿検査(全学年)
 - ・心臓疾患検査(1年生)
- その他、法定外では貧血検査(1年生希望者)を実施する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
M44	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法		

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	18,424
	決算	0
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	18,424
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		49,211
人件費 (千円)		2,800
人工	正規	0.4
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
健康診断受診率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 中学校給食事業

◇事業目的・事業対象

安全・安心でおいしい給食を提供し、生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

○学校給食法の学校給食衛生管理基準に基づく備品(食器消毒保管庫・包丁まな板殺菌庫)の購入、耐用年数経過に伴う備品購入など学校給食設備を整備する。また、給食を円滑に実施するための維持管理(給食用消耗物品、備品修繕など)と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、雑排水槽の青銅など、給食場の良好な環境を維持する。
○行政経営計画に基づき調理業務の民間委託を行う。
○地産地消の推進に向け、中学校給食で使用する米飯は可能な限り浜松市産米を使用する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S29	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法		○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	312,449
	決算	0
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	312,449
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		12,600
人工	正規	1.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	1.5

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
給食満足度率(自校方式、中学校) (%)		85			88

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 中学校給食事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充、小中学校自校方式の統合など、学校給食調理業務民間委託による事業の効率化に取り組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 5003
 取組事項名 学校給食調理業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
学校給食調理業務民間委託数 (調理場)	計画値	1	1	0	0	2(累計)
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		累積	23,106	46,584	46,584	46,584
						162,858

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 保健給食費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活が送れるような給食を実施するとともに、効率的な給食センター運営を行う。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,301,417
	決算	
	事業費 (A)	1,246,817
	人件費 (B)	54,600
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
給食満足度率(センター方式)	%	88	目標	85
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校給食センター事業				1,301,417	1,246,817	7.0	0.0	0.0	2.0	0
計					1,301,417	1,246,817	7.0	0.0	0.0	2.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校給食センター事業

◇事業目的・事業対象

共同調理場において安全・安心でおいしい給食を提供していくことで、児童・生徒の健康の保持増進を図るとともに、給食を通して正しい食習慣を身に付けるなど、食に関する指導の充実を図る。

◇事業の概要

- 学校給食食材購入事業
安全・安心でおいしい学校給食を運営するために必要な食材を調達する。
- 学校給食センター管理運営事業
給食を円滑に実施するための維持管理と、調理担当者の腸内保菌検査、保存食の細菌学的検査、給食室の防鼠防虫消毒、排水槽の清掃など、給食センターの良好な環境を維持する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S42	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校給食法		

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,241,817
	決算	0
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	748,893
	一般財源	497,924
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		54,600
人工	正規	7.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	2.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
給食満足度率(センター方式)(%)		85			88

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

行財政改革の取り組み (事業名) 学校給食センター事業

◇取組概要

退職者や職種変更者の不補充、小中学校自校方式の統合など、学校給食調理業務民間委託による事業の効率化に組み、市の財政負担を軽減する。

◇行財政改革の視点 5 事務事業の見直し

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

行政経営計画 取組番号 5003
取組事項名 学校給食調理業務の民間委託の推進

個別計画等 計画名等 _____

政策・事業シート (以下の項目に記載)

◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
学校給食調理業務民間委託数 (調理場)	計画値	1	0	0	0	1(累計)
	実績値					
	計画値					
	実績値					
	計画値					
	実績値					
効果額 (千円)		累積	-11,286	-11,286	-11,286	-11,286
						-45,144

◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 保健給食費

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、健康で安心な学校生活を送ることができるよう、健康管理や安全教育、学校給食に関する指導充実を推進し、安心して教育活動ができる学校づくりを行う。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	185,924
	決算	
	事業費 (A)	113,124
	人件費 (B)	72,800
	報酬 (C)	

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
防災ノート活用率	%	100	目標	作成(~H28)
			実績	
教職員の普通救命講習修了証の取得率	%	100	目標	65
			実績	
給食満足度率(総括)	%	90	目標	88
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学校保健衛生事業				48,836	32,736	2.3				
2	学校安全事業		○		22,212	7,512	1.7			1.0	
3	日本スポーツ振興センター災害 共済事業				65,639	62,839				1.0	
4	保健給食運営経費				49,237	10,037	5.6				
計					185,924	113,124	9.6	0.0	0.0	2.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学校保健衛生事業

◇事業目的・事業対象

小中学校の保健衛生環境を維持し、児童、生徒が学校生活を安全で快適なものとする。
 学校保健会の活動を支援することで、学校における健康教育並びに健康管理の充実を図る。

◇事業の概要

○就学時健康診断⇒就学予定者に、就学時健康診断を行い、疾病の早期発見・早期治療や健康管理を行う。
 ○学校における結核対策⇒結核検診を実施し、結核の早期発見・早期対応を行う。
 ○学校環境衛生検査⇒健康的で快適な環境づくりを図るため、学校環境衛生基準に基づき検査を実施する。
 ○学校保健指導⇒感染症予防、保健教育など学校保健全般に関する指導を行う。
 ○学校保健活動推進事業⇒学校保健向上のため、学校保健に関する調査研究や研修を行う。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S33	—	一般会計	自治事務(法令義務)	学校保健安全法		

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	32,736
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	32,736
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		16,100
人工	正規	2.3
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
就学時健康診断受診率(%)		100			100
教職員を対象としたアレルギー研修会の実施率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 学校安全事業

◇事業目的・事業対象

学校安全(災害安全・生活安全・交通安全)について、学校と教育委員会との連携を更に進めるため、危機管理を総括する機能の充実を図る。特に学校防災については、地域との連携を深め、子どもの命を守る安全対策の確立を図る。

◇事業の概要

学校安全に関する施策の総合的かつ効果的な推進と学校危機管理が緊急時に有効に機能するよう適切な対応を図る。学校安全では、計画、実行、評価、改善サイクルの確立を目指す。

- (1) 災害安全事業
 - ・教育委員会と学校が一体となった防災対応体制を見直し、実態に基づいた防災対策基準の見直しを図る。
 - ・学校と区災害対策本部との連携体制を強化する。
- (2) 生活安全事業
 - ・地域との連携を図り、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備する。
 - ・各学校が作成している危機管理マニュアルについて、緊急時に有効に機能するよう適切な見直しを図る。
- (3) 交通安全事業
 - ・通学路の安全対策の整備を進めるとともに、交通安全教育推進モデル小学校事業、交通安全リーダーと語る会等の交通安全教育の充実を図る。
 - ・警察、交通安全協会との連携を深め、子どもの交通安全意識の高揚を図り、保護者への啓発も充実する。

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H25	—	一般会計	自治事務(その他)	学校保健安全法、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業実施要項		○

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	7,512
	決算	
	国・県支出	2,294
	市債	
	その他	
	一般財源	5,218
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		14,700
人工	正規	1.7
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
防災ノート活用率(%)		作成(~H28)			100
教職員の普通救命講習修了証の取得率(%)		65			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 日本スポーツ振興センター災害共済事業

◇事業目的・事業対象

独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を締結することにより、市立小・中学校、高等学校の管理下における児童、生徒の災害(負傷、疾病、障害、又は死亡)について必要な給付を行い、学校教育の円滑な実施を図る。

◇事業の概要

○児童・生徒が学校管理下において災害を受けた場合に医療費の一部の還付、後遺障害見舞金及び死亡見舞金が給付される「日本スポーツ振興センター災害共済給付制度」へ加入し、被災児童等に係る給付金の請求・給付に関する事務を行う。

【共済掛金】

- ・〈平成27年度現行〉義務教育諸学校=945円、市立高校=1,865円
 ※内、市負担分:義務教育諸学校=485円、市立高校=355円
 (要保護・準要保護児童・生徒については市が全額負担)

【給付内容】

- ・医療費、障害見舞金、死亡見舞金等

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
S35	—	一般会計	自治事務(その他)	独立行政法人日本スポーツ振興センター法		

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	62,839
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	29,781
	一般財源	33,058
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	2,800
人工	正規	
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
加入率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

事業シート (事業名) 保健給食運営経費

◇事業目的・事業対象

保健給食課業務の運営を円滑に進めるとともに、学校給食従事者に対し研修会等を行うことにより、充実した学校給食の運営と学校給食従事者の資質向上(調理技術・衛生管理)を図る。

◇事業の概要

- AED維持管理事業(AEDの消耗品交換及び保守点検等の実施)
- 学校給食指導事業(学校給食従事者研修会等の実施)
- 保健給食課業務を円滑に実施するための諸経費

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
-	-	一般会計	自治事務(その他)			

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	10,037
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	10,037
	一般会計繰入金	
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		39,200
人工	正規	5.6
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
給食満足度率(総計)(%)		88			90

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

政策シート

(政策名) これからの社会を生き抜くための資質や能力の育成
(予算費目名) 学童等災害共済事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 子育て・教育

30年後の姿 地域の宝として愛情を注がれた子どもたちは、浜松に誇りを持ち、世界を舞台に活躍している。

10年後の目標

- 子どもたちの成長を第一に考えた地域社会のサポートにより、仕事と子育てが両立できる環境が整っている。
- すべての子どもたちは、互いの個性を認め合い、夢と希望を持って学び、生きる力を身に付けている。

◆基本政策 市民協働による未来創造へのひとづくり

◇政策の概要

浜松の将来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与するために、学童等災害共済事業を実施する。

◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	10,612
	決算	
	事業費 (A)	6,200
	人件費 (B)	4,200
	報酬 (C)	212

◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
加入率	%	100	目標	100
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	学童等災害共済事業				10,612	6,200	0.2			1.0	212
計					10,612	6,200	0.2	0.0	0.0	1.0	212

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

事業シート (事業名) 学童等災害共済事業

◇事業目的・事業対象

学校管理下等において災害を受けた学童等を救済し、学校教育の円滑な実施と福祉増進に寄与する。

◇事業の概要

義務教育諸学校に在籍する学童等が、学校で編成した教育課程に基づく授業や課外指導中、または、委員会に申請があり承認された子供会・スポーツ少年団等の活動等において災害を受けた時に、その治療費や治療期間、傷害の程度に応じた見舞金を支給する。
 なお、共済会費として1人90円を徴収する。但し、その1/2を市が負担する。(要保護・準要保護の児童・生徒は会費を免除し、全額を市が負担する。)

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
M44	—	特別会計	自治事務(その他)	浜松市学童等災害共済条例		

◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,200
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	35
	一般財源	2,884
一般会計繰入金		3,281
人件費(報酬等) (千円)		212
人件費 (千円)		4,200
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	
	再任用(h26)	
	非常勤	1.0

◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
加入率(%)		100			100

◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み